

# 地域をつなぐ、町会のチカラ

## ～これからの町会のあり方とは～

八尾市役所 コミュニティ政策推進課



## 目的

町会加入の方 : 新たな気づきの機会

町会未加入の方 : 町会へ入るきっかけ

# 目 次

- 1 町会ってなに？
- 2 町会活動の紹介
- 3 なぜ町会が大切なのか
- 4 市の取組紹介
- 5 町会加入促進策や脱会防止策を考える



1 町会ってなに？

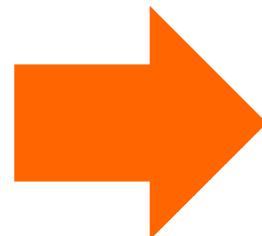
## 町会の起源

### 江戸時代

5人組制度（近隣5軒1組）

冠婚葬祭・年貢の納入・治安維持

連帶責任を負うため相互に監視しあった



## 近代の町会

### 昭和初期

政府による組織化→全戸加入

竹やり訓練・防火演習・食糧配給の機能をはたした

出典：公文書に見る戦時と戦後  
全国に30万ある自治会って何だ？

## 町会とは

地域に住んでいる住民たちが、「自分たちのまちは自分たちの手で」と自主的な考え方で運営し、地域の問題を解決していく任意の住民組織

## 八尾市自治振興委員会の結成

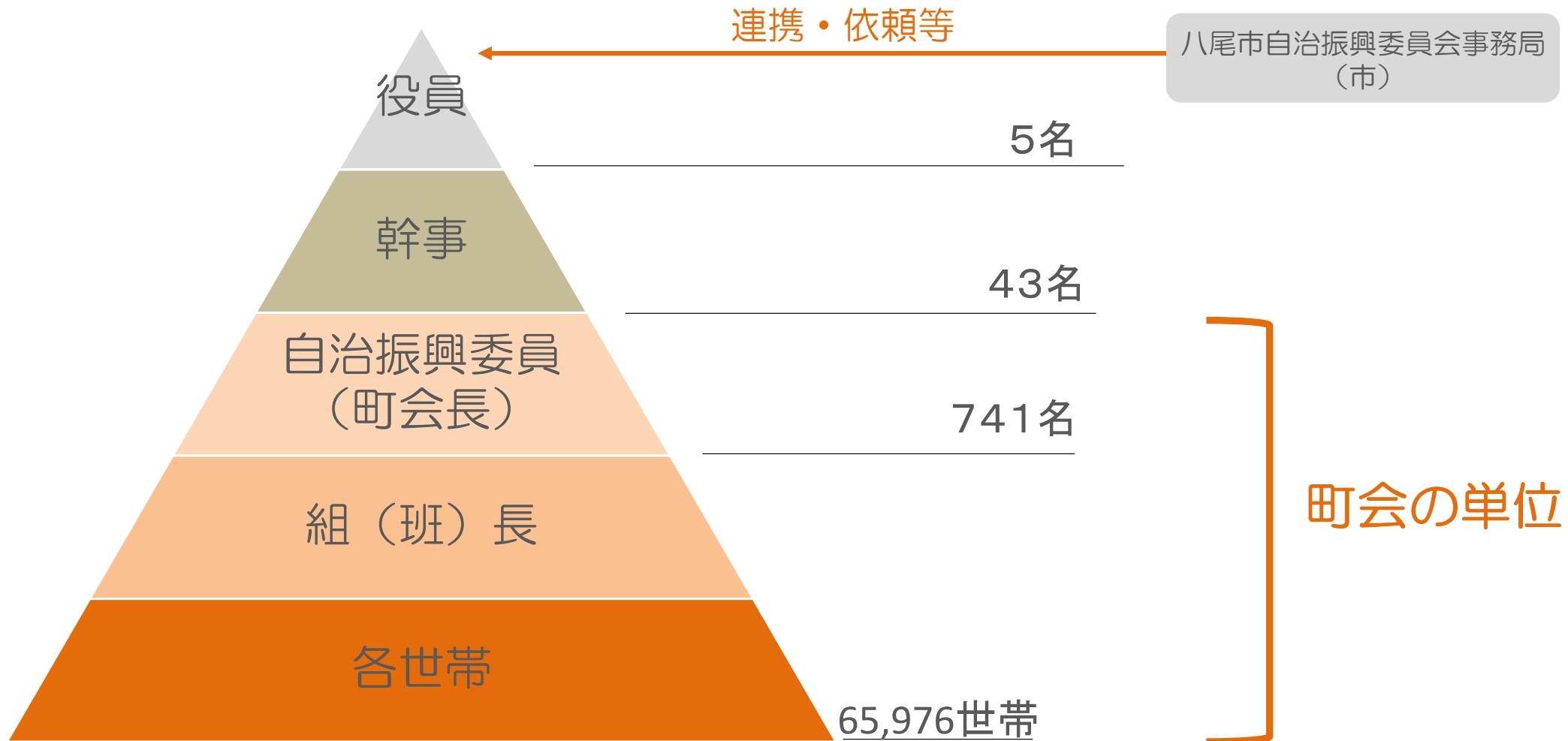
昭和26年4月 全市域的組織

令和 7年5月 741町会



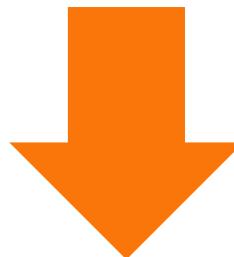
# 八尾市自治振興委員会

令和7年5月1日現在



## 町会の役割

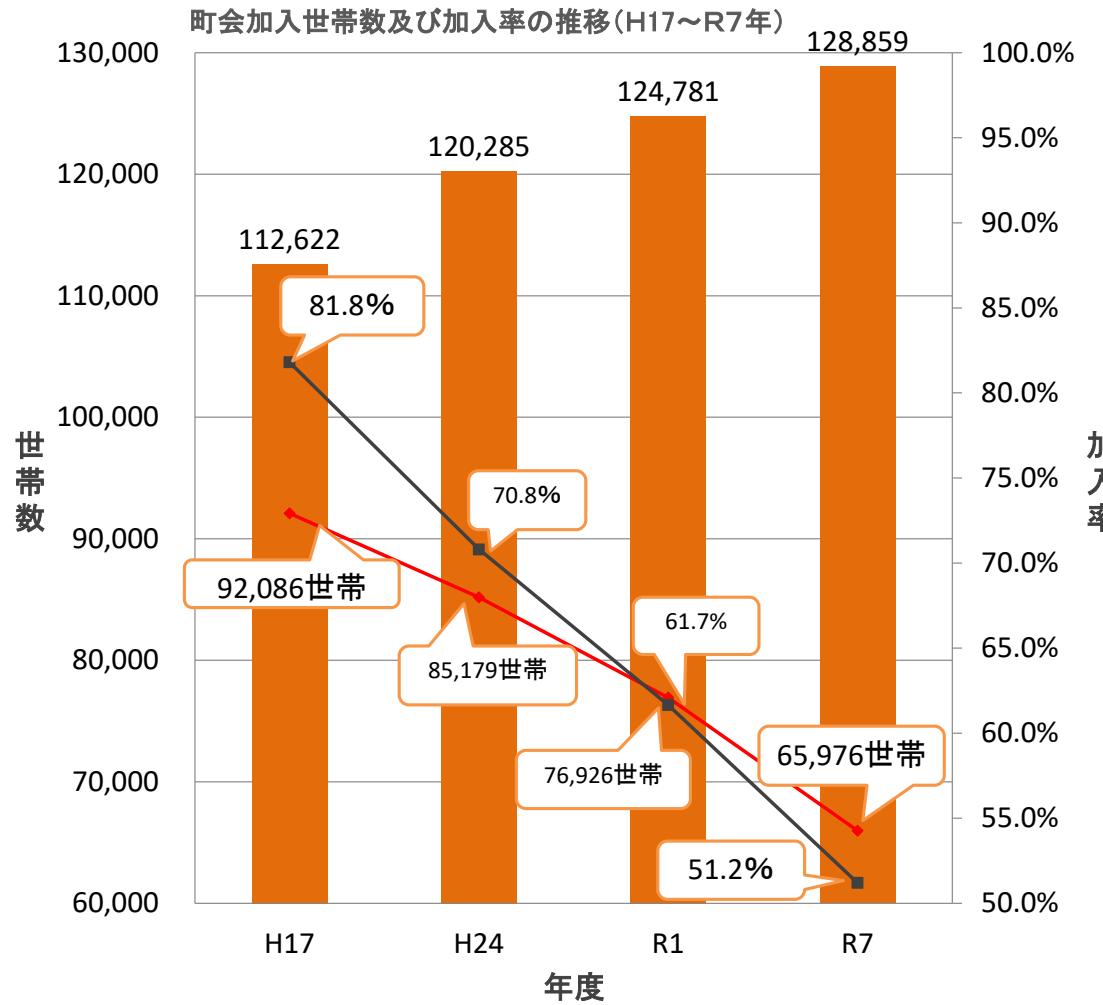
地域に住んでいる人が互いに協力し合い、自分達のまち  
を安心安全で住みやすい環境にしていくこと



まちづくりの基盤を支える役割



## 町会加入世帯数の推移



世帯数は増加しているが、  
町会加入世帯数は年々減少傾向  
にあり、町会加入率は50%を  
割り込むところまできている



# 社会の構造変化と町会の課題

1960年	就業者のサラリーマン化	→	・非雇用者が雇用者を上回る ・核家族化の進行
1970年	自治会・町会加入率90.2%	→	
1985年	女性の社会進出が本格化 「男女雇用機会均等法」成立	→	地域や家族とのつながりの希薄化
1991年	バブル崩壊	→	
1995年	ウィンドウズ95登場によりIT化	→	・バブル崩壊やIT化により非正規雇用者数の増加 ・価値観の多様化 ・個を優先する利己的な考え方の拡大
2014年	非正規雇用者数1962万人 (1990年の2.2倍)	→	



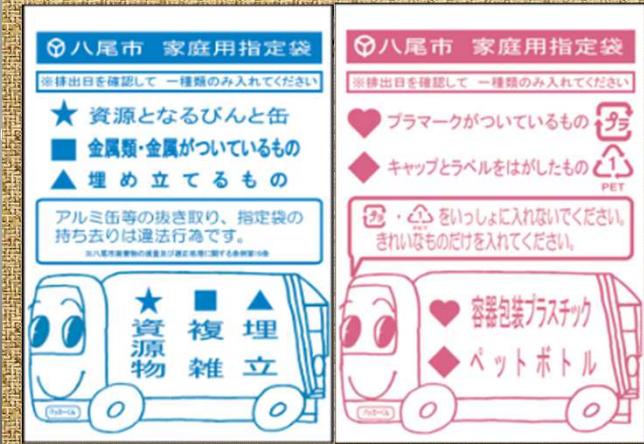
町会加入率の低下、担い手不足、町会活動の停滞、役員の高齢化が課題

## 2 町会活動の紹介

## 防災訓練



## ごみ袋の配付



## 広報板の管理



## 地域一斉清掃



## 他にもこんな活動があります

- ・各種文書の回覧を通じた市政情報等の周知
- ・防犯啓発活動（八尾警察との協力）
- ・地区委員会への出席（地域課題の共有、議論等）
- ・町会加入促進活動（転入された方への加入呼びかけ）

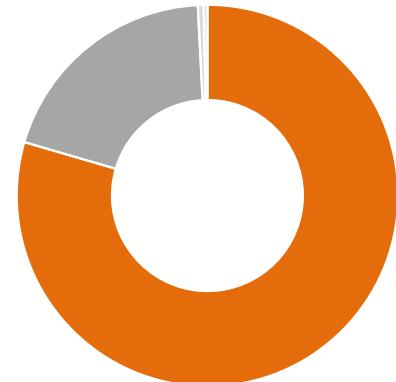
### 3 なぜ町会が大切なのか

防 災



# 東日本大震災後の国民意識の変化

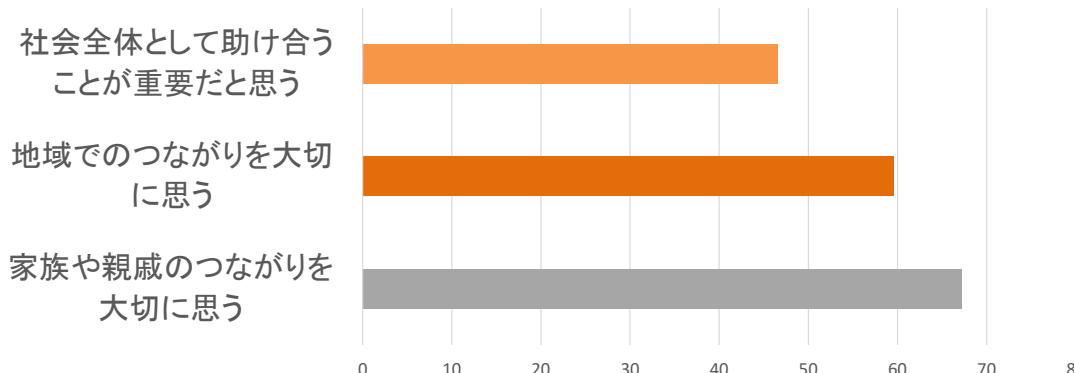
震災前と比べて社会における結びつきが  
大切に思うようになったか



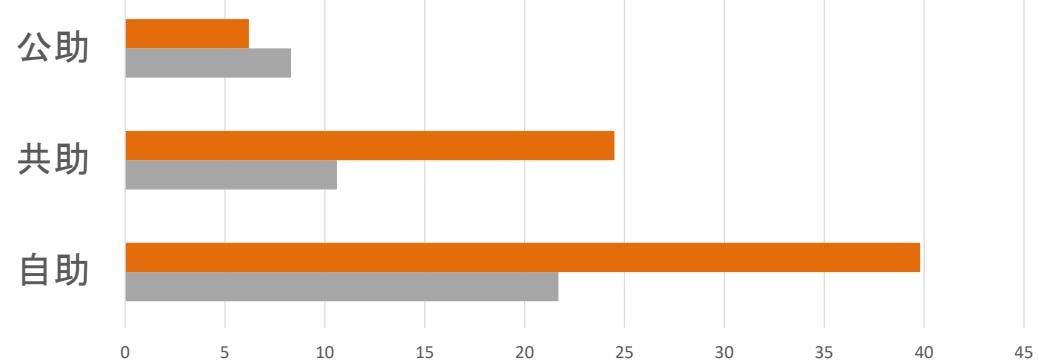
- 前よりも大切なようになった
- 特に変わらない
- 前よりも大切なと思わなくなった
- わからない



震災後強く意識するようになったことは何か  
(複数回答可)※上位3項目



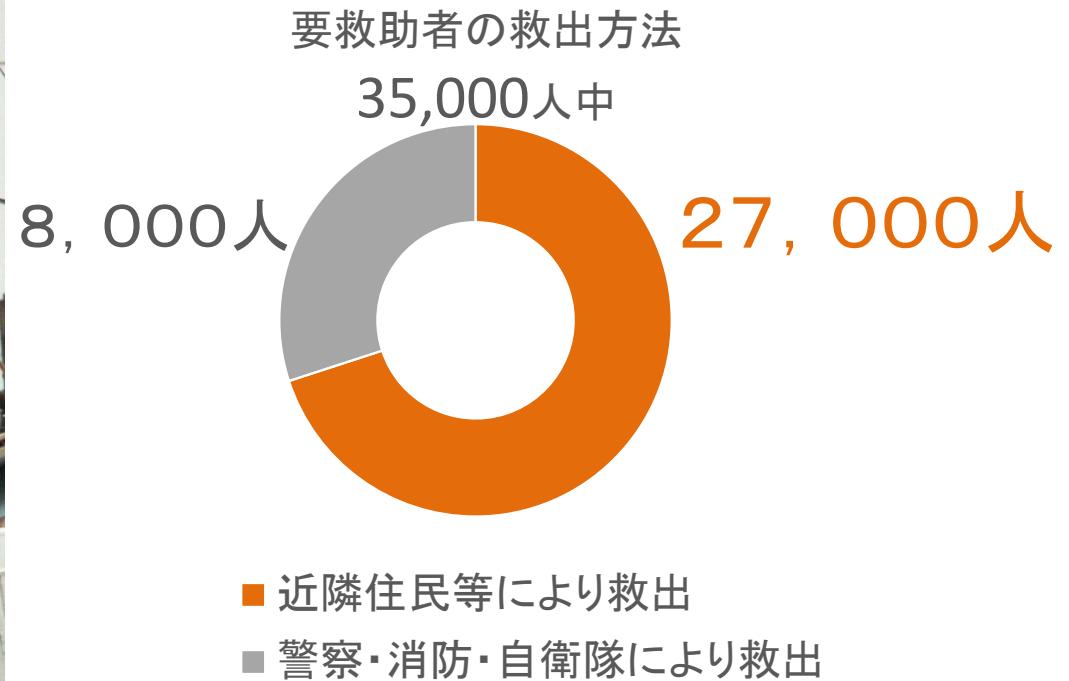
震災後強く意識するようになったこと(抜粋)



出典:内閣府の世論調査「社会に関する世論調査」(H24) 「防災意識に関する世論調査」(H25 H29)

■ 平成29年度 ■ 平成25年度

# 阪神淡路大震災で救助された人の割合



出典:内閣府 防災情報のページ「日常における人の絆の重要性」

# 平成以降、主な日本の大規模災害

西暦年	主な大規模災害	概況
1995	阪神淡路大震災	最大震度7 死者6,437人
2004	新潟県中越地震	最大震度7
2007	能登半島地震	最大震度6強
	新潟県中越沖地震	最大震度6強
2011	東日本大震災	最大震度7 死者22,010人
2014	平成26年8月豪雨	広島で大規模土砂災害など
2015	関東・東北豪雨	堤防決壊、茨城などで被害
2016	熊本地震	最大震度7(史上初2度発生)
	北海道に3つの台風	鉄道寸断、農業被害甚大
2017	九州北部豪雨	福岡、大分で多数の人的被害
2018	西日本豪雨	真備町などで大きな被害
	台風21号	連絡橋被害、関空冠水閉鎖
	北海道胆振東部地震	日本初のブラックアウトが発生
2019	房総半島台風(台風15号)	千葉ではインフラにも甚大な被害
	東日本台風(台風19号)	東日本の広い範囲に大きな被害

毎年のように50年に1度、  
100年に1度と称される大  
規模災害が発生

こうした災害で力を発揮するの  
が地域の絆、自治会・町内会な  
どによる、防災や減災を目的と  
した共助です



出典:令和・アフターコロナの自治会・町内会運営ガイドブック

# 町会に入っていれば・・・

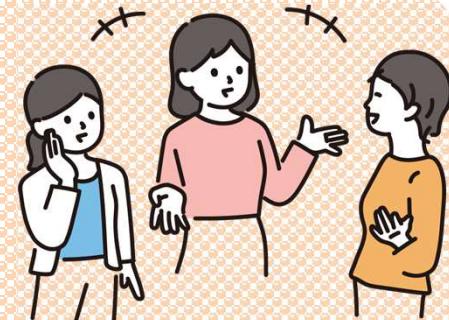
不審者から子どもを見守ってくれる



助け合いにより命が助かる



得られる情報量が多い



相談に乗ってくれたり、必要な支援に繋げてくれる



ストレスのかかる避難所でも安心して過ごせる

2025年1月、政府の地震調査委員会より南海トラフ巨大地震は30年以内に80%程度の確率で発生すると発表がありました

でも・・・

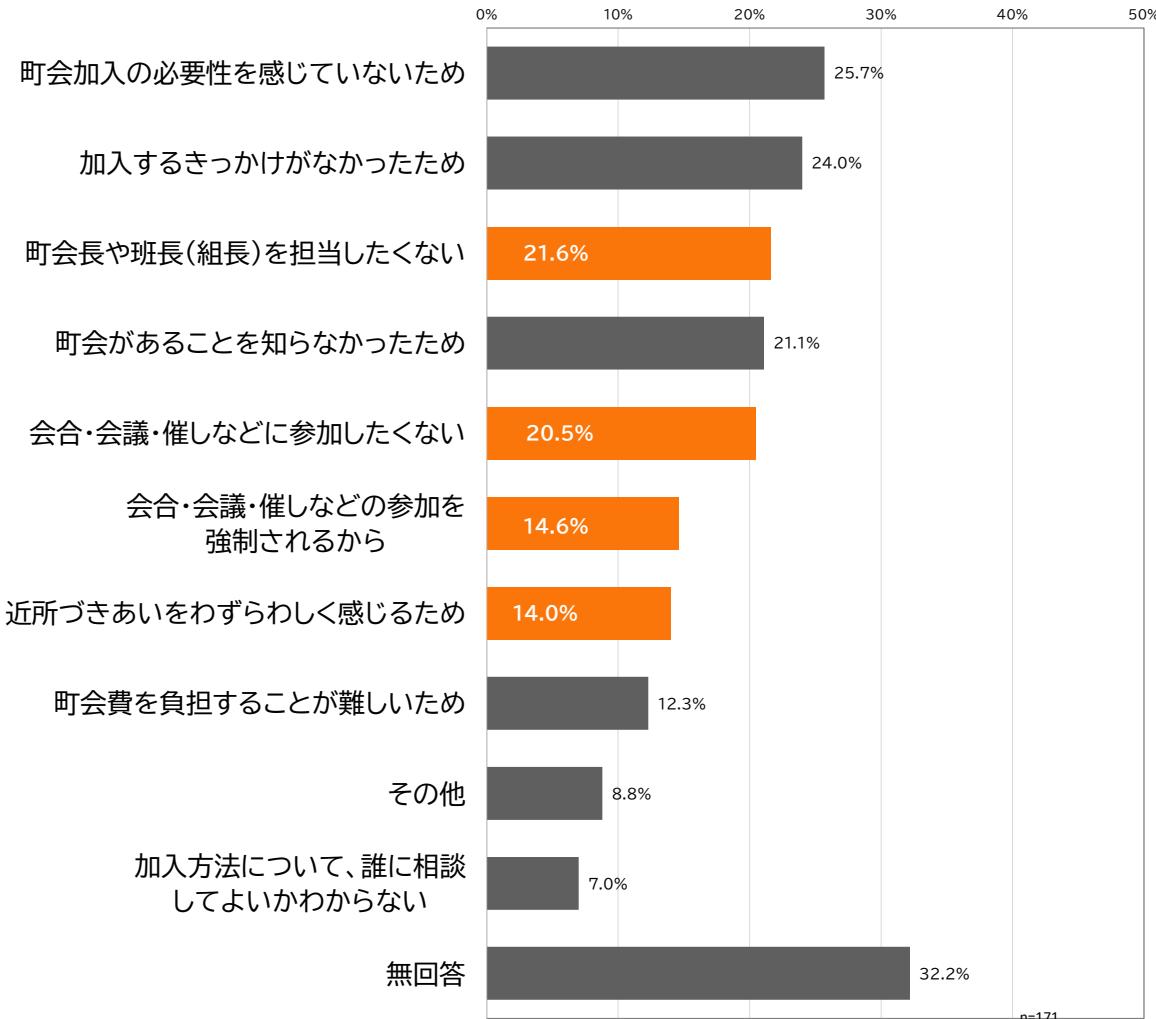


役が回ってきたら負  
担が大きそう

災害のために町会が  
必要なのはわかるけ  
ど、万が一のために  
町会へ加入まで  
は・・・

働いているので会合や  
会議に出席できない

## 令和5年度「八尾市町会活動に関するアンケート結果」（町会未加入の理由）



運営方法が昭和から変わっていないため、町会の課題に対応できていない



町会への負担軽減と  
更なる町会加入メリット  
の創出が必要

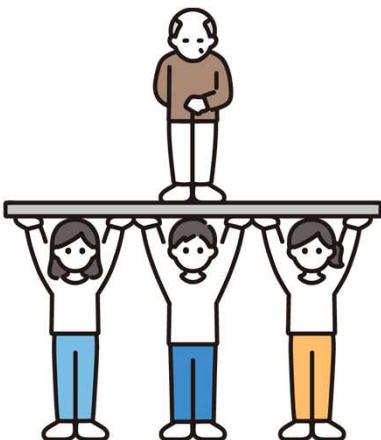


## 4 市の取組紹介

# 町会負担軽減策①

## 八尾市自治振興委員会・町会への依頼事項 見直し方針策定

町会の立場に立って町会内で役員を担う方や活動に対する負担を軽減  
依頼事項の見直しは令和6年度より市全体で取り組みを実施  
これで「地域の自治」への注力が可能に！



回覧依頼月を年  
**10→4回**

回覧・ポスター  
掲示件数を  
**120→37件**

回覧や掲示の  
負担軽減

# 町会負担軽減策②

## 町会・自治会の運営・活動ガイドライン 「お悩み解決ヒント集」の作成

町会長や自治振興委員、市民からアンケートを実施し、  
様々な意見をいただき作成  
町会のことでの悩む前にこれを見れば即解決するかも!?

町会業務の負担  
軽減方法

町会加入促進・  
脱会防止方法

情報共有方法



八尾市・町会・自治会の運営・活動のガイドライン  
**お悩み解決ヒント集**

八尾市では、町会・自治会の運営・活動における課題やお悩みを解決するため、この「お悩み解決ヒント集」を作成しました。このガイドラインは、町会長や自治振興委員、市民の方々からの意見をもとに、実際に問題となる課題に対する具体的な解決策をまとめたものです。

このガイドラインは、以下の3つの主要な分野で構成されています。

- 町会業務の負担軽減方法**: 町会業務の運営にかかる負担を軽減するためのヒントをまとめたものです。
- 町会加入促進・脱会防止方法**: 町会の加入率を高め、脱会を防ぐためのヒントをまとめたものです。
- 情報共有方法**: 町会間での情報交換や情報共有の方法を示すヒントをまとめたものです。

このガイドラインは、町会長や自治振興委員、市民の方々が参考にしていただけるよう、わかりやすくまとめられています。ぜひご活用ください。



## 町会負担軽減策③

### 町会業務のデジタル化を提案

市からの文書をすべて電子回覧にし、回覧板やポスター掲示が不要  
アンケート機能などもあり、町会内の意見集約も楽々  
定例の会議になかなか出席できない働き世代の方にはリモートでの  
参加がおすすめ！



簡単な操作

分かり易い画面

迅速な情報共有



## 町会負担軽減策④

### 町会未加入者への対応を提案

町会に入りたい気持ちはあるけど体験みたいなものがあれば  
という方にぴったり  
町会へ部分的に参加し、いいなと思えば加入でOK

町会未加入でも  
町会の情報が見  
れる

気になる町会の  
活動だけ参加

新しい活動の  
提案が可能



## 5 町会加入・脱会防止策を考える



①か②のどちらかを選び5分で考えてください。

①働き世代が町会加入したくなる活動とは？

②町会脱会率0%にするには？

# まとめ

地域をつなぐ、町会のチカラ＝災害時に命を救う顔見知りの助け合い

【これからの町会のありかたイメージ】

